

【子どもたちに絵本の読み聞かせをしよう】



読み聞かせをChromebookで撮影している場面

活用場面

一斉学習

教師による教材の提示

個別学習

個に応じた学習

思考を深める学習

協働学習

協働での意見整理

活用した機器等

Chromebook  
 プロジェクター

活用したアプリ等

Google Classroom  
 Power Director  
 カメラ(録画)機能  
 Google Jamboard  
 Google Forms

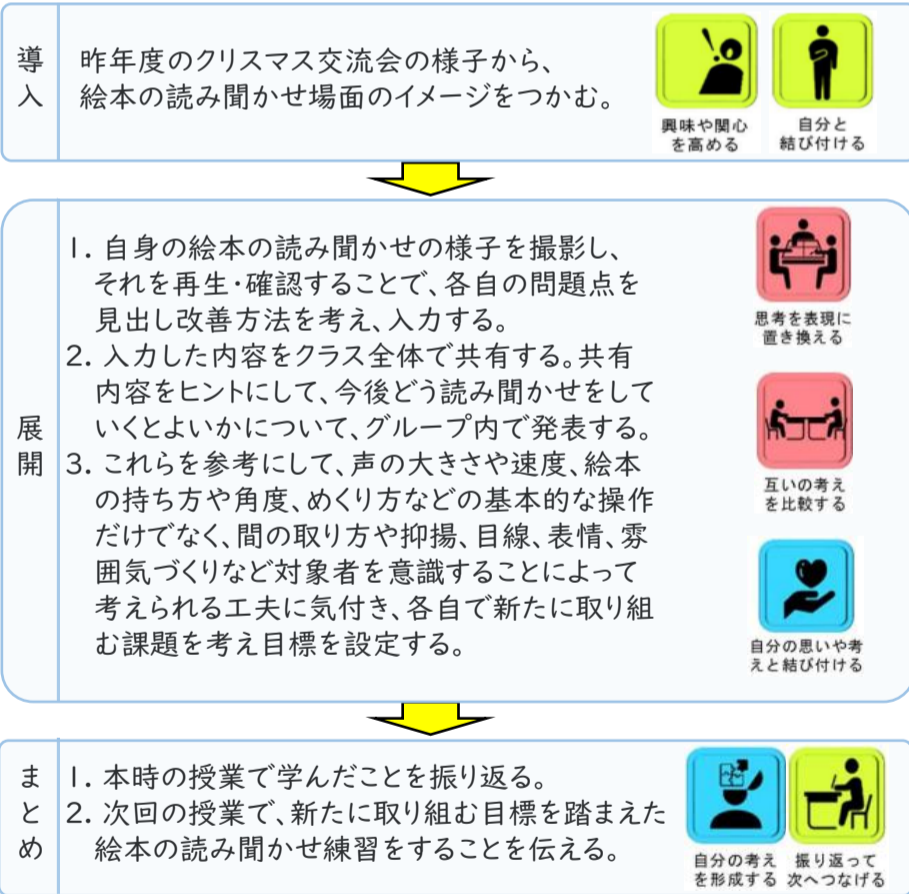


Google Jamboardで改善点の共有

学習のねらい

保育園児に向けて絵本の読み聞かせを行うクリスマス交流会の企画に向け、園児が楽しめる絵本の読み聞かせの仕方を身に付ける。  
 自身の絵本の読み聞かせの仕方を個人で分析し、その分析結果をクラス全体で共有する。そうすることで、他者の分析を参考に自身の読み聞かせの仕方について必要な工夫を見だし、改善・向上に向けた新たな目標を構想し、解決に向かう力を養うとともに、技能の向上をめざす。

学習の流れ



ここでICTを活用!(実演場面)

【導入】

昨年度のクリスマス交流会の様子を撮影した『動画』を全員で鑑賞した。

【展開】

1. 絵本の読み聞かせを『Chromebookの録画機能』で撮影し、それを確認させる。自分自身の問題点や改善点を『Google Jamboard』に入力する。クラス全員が入力した後に、全員の入力内容を確認する。  
 2. 『Google Jamboard』で全体共有する。

【まとめ】

絵本の読み聞かせ発表に向けて、身だしなみや態度、声の大きさや視線の配り方、絵本の扱い方、グループとしてのまとまりやその他、新たな改善目標について、振り返りを『Google Forms』で入力する。

活用のメリット、実践の工夫・振り返り等

導入で、昨年度のクリスマス交流会の様子を動画で鑑賞させることによって生徒はイメージがつかみやすくなり、主体的に取り組めるようになったと考えられる。  
 従前は相互評価を用いて様々な気づきを得るようになってきたが、この方法は他者を評価することに抵抗感を持つ生徒にとって有効な方法だと考える。クラス全員が、自分の読み聞かせについての問題点や改善方法を『Google Jamboard』に入力したことで、自分では気付かなかった様々な点に気付くことができていた。自身では気付かない点に気付く方法としては相互評価も考えられるが、ICTを用いる方法も効果的だと感じた。次回に行った読み聞かせの練習では、新たにに取り組む目標を意識して練習を行って再撮影した動画と見比べることで、自身の変化を客観的に確認することもできた。  
 今後の課題として、他の単元でもポートフォリオ型の振り返りを行うために、年度はじめに年間を見通した共通の振り返りフォームを作成しておくことが必要であると考えられる。